

YA21326

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	後期	発展	財務分析論	山本宣明	15	2

## 授業の目的

本授業は管理会計領域の発展科目として、財務分析に対する体系的な理解を深めると共に、応用実践していく基礎を築くことを目的とします。体系的な理解はデュポン・システムと呼ばれる ROE に基づく 3 分解を基礎として、収益性と安全性を発生ベースと現金ベースで診る方法を指します。発生ベースと現金ベースの両方で解釈を総合化する力が、管理会計として財務分析を実施するには不可欠です。この点を本授業では重点的に繰り返し学修します。また、管理会計として応用実践していくために、分析結果から経営を改善する方向性を如何に見出すか検討します。

具体的な授業の進め方として、本授業では 2 社程度の会社を取り上げて指標を計算しながら解釈を深めていくアプローチを取ります。また、分析を授業の中で進めていき、途中段階で中間レポートを複数回、作ってもらいます。それを授業内で適宜共有したり相互に議論を深めるようにしていきます。

## 授業の到達目標

財務分析に対する体系的な理解を構築すると共に応用実践する基礎を確立すること。特に発生ベースだけでなく、現金ベースで解釈できる能力に関して基礎を確立すること。また、五月雨式に指標を使うのではなく、体系的な理解の下で KPI を適用・運用する方法に対する理解を構築すること。

## 履修条件

管理会計論（管理会計論Ⅰ・Ⅱ）を履修済みであることが望ましい（意欲的に学修する限りは未履修でも可）。

## 授業計画

回	授業内容	日程
1	【財務分析の基本的な体系について】 財務分析の基本的な体系を中心に講義します。基本的な体系は ROE を頂点とするデュポン・システムと呼ばれる 3 分解を展開する考え方です。また、財務分析を行う際の留意点を示します。	10月2日(土) ①9:30-11:00
2	【収益性の分析①】 収益性の分析は利益率と回転率の分析によって構成されます。ここでは利益率の分析を取り上げます。利益率の分析は損益計算書を中心に行われます。各利益率の意味合いを丁寧に押さえながら分析していきます。	10月9日(土) ①9:30-11:00
3	【収益性の分析②】 収益性の分析の第2回は回転率の分析を取り上げます。利益率の分析は直感的に理解しやすいものですが、回転率の分析は収益性の分析を深く理解するターニングポイントとなります。キャッシュフローの分析で回転率の分析は更なる展開を迎えます。ここでは回転率の分析の入口的な理解を構築します。	10月16日(土) ①9:30-11:00
4	【収益性の分析③】 第3回と第4回で行った利益率と回転率の分析結果を踏まえて、取り上げている2社の収益性をどのように評価するか中間レポートを作成し共有・討議します。	10月23日(土) ①9:30-11:00
5	【安全性の分析①】 安全性の分析は短期と長期の2つに区分されます。両方の安全性を全体としてどのように診るべきかを押さえた上で、ここでは短期的な安全性について取り上げます。短期的な安全性は、主として営業活動の循環に注目することを押さえます。	10月30日(土) ①9:30-11:00
6	【安全性の分析②】 安全性の分析の第2回は長期的な安全性の分析を取り上げます。長期的な安全性は資本と資産の構成とバランスに注目することを押さえます。	11月6日(土) ①9:30-11:00
7	【安全性の分析③】 第6回と第7回で行った短期と長期の安全性の分析結果を踏まえて、取り上げている2社の安全性をどのように評価するか中間レポートを作成し共有・討議します。	11月13日(土) ①9:30-11:00
8	【キャッシュフローの分析①】 第8回までの発生ベースの財務分析を前提に、現金ベースの財務分析を実施します。ここで	11月20日(土) ①9:30-11:00

	は営業キャッシュフローに注目した分析を講義します。利益の質、利益ポテンシャル、キャッシュコンバージョンサイクルといった概念に言及します。	
9	【キャッシュフローの分析②】 引き続き営業キャッシュフローに注目した分析を講義します。利益の質、利益ポテンシャル、キャッシュコンバージョンサイクルといった概念に言及します。	11月27日(土) ①9:30-11:00
10	【キャッシュフローの分析③】 キャッシュフローの分析の第3回は、投資キャッシュフローの分析を取り上げます。営業キャッシュフローとの差額であるフリーキャッシュフローに対する理解と、中長期的な観点での投資キャッシュフローの解釈について講義します。	12月4日(土) ①9:30-11:00
11	【キャッシュフローの分析④】 キャッシュフローの分析の第3回は、財務キャッシュフローの分析を取り上げます。あまり財務キャッシュフローの分析に紙幅が割かれない傾向がありますが、会社の財務行動と構造を理解する上で財務キャッシュフローの分析は不可欠であることを講義します。	12月11日(土) ①9:30-11:00
12	【キャッシュフローの分析⑤】 キャッシュフローの分析の第12回は、第8回から第11回までの分析結果を踏まえて、取り上げている2社の収益性と安全性をどのように評価するか中間レポートを作成し共有・討議します。	12月18日(土) ①9:30-11:00
13	【ケーススタディ①】 本学の会計学の研究指導を通じて修士論文を作成した修了生の方に、修士論文を基礎に実践されている内容をお話頂きます。適宜履修者の皆さんと議論することを予定します。	1月8日(土) ①9:30-11:00
14	【ケーススタディ②】 古田土経営の飯島彰仁先生による特別講義を行います。適宜履修者の皆さんと議論することを予定します。	1月15日(土) ①9:30-11:00
15	【会計事務所による中小零細企業向けの財務分析のあり方】 会計事務所による中小零細企業向けの財務分析のあり方について、第14回までの講義内容を踏まえて講義を行います。	1月22日(土) ①9:30-11:00
試験	期末試験	1月29日(土) ①9:30-11:00

## 使用教科書／評価方法等

教科書	適宜、資料を配布します。
参考書	桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社 林總『経営分析の基本』日本実業出版社 Krishna G. Palepu, Paul M. Healy and Eric Peek 『Business Analysis and Valuation』 この他、適宜、講義の中で紹介します。
評価方法	出席を含む授業への貢献度など(40%)、中間レポート(20%)、期末テスト(40%)
その他	授業の進み具合や履修者の方の数に応じて内容を変えることがあります。